

第8回 国際パデレフスキ ピアノコンクール in ビドゴシチ

2010年11月7日～21日

ルールと規則

I.

1. 第8回 国際パデレフスキ ピアノコンクールは2010年11月7日から21日にかけて、ビドゴシチ市(ポーランド)にて開催される。
2. このコンクールは、傑出したピアニスト、巨匠、作曲家、政治家であったイグナツ・ヤン・パデレフスキを記念する目的で実施される。
3. コンクール主催者：
 - ・ I. J. パデレフスキ音楽協会 (主催)
 - ・ 共催： ポーランド文化・国家遺産省、
クヤヴィ・ポモージェ県、
ビドゴシチ市
4. パートナー：
 - ・ F. ノヴォヴィエイスキ音楽アカデミー (ビドゴシチ音楽アカデミー)
 - ・ I. J. パデレフスキ ポメラニア・フィルハーモニーホール
5. コンクールの予選・本選は一般に公開され、ビドゴシチの音楽アカデミーとポメラニアフィルハーモニーのコンサートホールにて開催される。

II.

このコンクールには1978年から1994年の間に誕生した、全ての国籍のピアニストが参加できる。

III.

1. 参加申込には次のものを添付すること。

- a. 参加申込み書と、演奏時間を含むコンクール演奏プログラムの詳細をブロック体で記述
- b. 最近撮影した身分証明写真（白黒）を電子データにて。（CD、DVD もしくはメール添付）
- c. 申込者の誕生日を証明できるパスポートなどのコピー
- d. 簡潔な音楽経歴書

（過去の演奏歴、他のコンクールへの参加歴、賞状のコピー、師事した先生、卒業した学校名など）
- e. 著名な音楽家もしくは申込者の最近の教授による推薦状。コンクールでの演奏プログラムについて直接言及したものであること。
- f. 必要な書類が揃っていない申込みは受理されない。
- g. 全ての書類は返却されない。

2. 全ての参加申込み書類は 2010 年 3 月 31 日までに次の住所に到着しなければならない。

The Paderewski Musical Association,

The Office of the International Paderewski Piano Competition,

85-018 Bydgoszcz, ul. Ks. Piotra Skargi 7, POLAND

3. コンクール委員会は全ての申込みを吟味し、2010 年 4 月 30 日までに全ての申込者に対し申込みの受理、もしくは予備審査会への招待を通達する。

4. コンクール事務局は全ての申込みの受理、拒否を決定する権利を持つ。

IV.

第8回国際パデレフスキピアノコンクールの予備審査会は2010年5月から6月にかけて次の諸都市で開催される。

- a) モスクワ 2010年 5月10日～11日
Yamaha Artist Services Moscow
Office 4015, entrance 2, 21/5 Kuznetskii Most Street,
Moscow 107996, Russia

- b) ハノーヴァー 2010年 5月13日～14日
Hochschule für Musik und Theater Hannover
Emmichplatz 1,
30175 Hannover, GERMANY

- c) ロンドン 2010年 5月16日～17日
Yamaha Piano Artist Services London
152-160 Wardour Street
Soho, London, W1F 8YA
England

- d) ニューヨーク 2010年 5月24日～25日
Yamaha Artist Services, Inc.
689 Fifth Avenue, 3rd Floor
New York, NY 10022

- e) ワルシャワ 2010年 6月6日～7日
Chopin Music University in Warsaw
ul. Okólnik 2
PL-00-368 Warszawa, Poland

- f) 東京 2010年 6月11日
東京都中央区銀座7丁目10-14
ヤマハアーティストサービス東京
電話 03-3378-1291

- g) ソウル 2010年 6月29日
Yamaha Artist Services Seoul
8F, 9F, Dongsung Bldg. 158-9 Samsung-Dong,
Kangnam-Gu, Seoul, Korea
TEL:02-3467-3300 FAX:02-3467-3388

- h) 深圳(シンセン) 2010年 7月2日
Shenzhen Arts School
No. 16 Baihua 2nd Road
Futian District
Shenzhen 518028, P.R. China

V.

予備審査会プログラム (30分以内)

1. 予備審査会参加者は次の各曲を演奏しなければいけない。
 - * ヴィルトゥオーゾ(技巧的な)練習曲 2 曲 (ショパン 1 曲を含む)
 - * 古典派ソナタから第 1 楽章、もしくは第 1 楽章を含む複数楽章
 - * 古典派以外の自由選択曲 1 曲か 2 曲、但しスタイルの異なるもの。
2. 十分な裏付けのある理由で予備審査会に参加できない者にかぎり例外的に、上記予備審査会プログラムを DVD もしくは VHS ビデオ (PAL もしくは NTSC) に録画して、全ての申込書類を添えて 2010 年 5 月 31 日までにパデレフスキ音楽協会に送ること。

注意: a) 録画は 1 台の固定カメラで、ピアニストの右側全身と手を映すこと。

b) 音響品質を向上させるために外部マイクを使用することを奨める。

c) ビデオの編集は一切禁止される。

d) 録画は申込者自身によって署名され、その正当性を申込者の最近の教師もしくは他の著名な音楽家によって証明されなければならない。その証明書には直接コンタクト可能な証明者の電話番号(必要な場合に備えて)が必要である。

VI.

1. 申込者は 2010 年 7 月 31 日までに予備審査の結果を知らされる。
2. 40 名以内の申込者がコンクールへの参加を認められる。
3. コンクール参加を認められた者は参加料 100 ユーロを 2010 年 8 月 31 日までにパデレフスキ音楽協会口座に振り込まなければならない。

Towarzystwo Muzyczne im. Paderewskiego w Bydgoszczy

PeKaO S.A. II Oddział w Bydgoszczy

SWIFT: PKOP PL PW

account number: IBAN BANK PL 74 1240 3493 1111 0000 4305 8930

4. 支払われた参加料は返還されない。
5. コンクール参加者は、必要な場合、ポーランドへの入国ヴィザを申請しなければならない。

VII.

全てのコンクール演奏および受賞者コンサートは

- a. 無償で、ラジオ、テレビ、インターネットでの放送
- b. コンクールの記録として無償での録音・録画、そのテレビやラジオでの放送
- c. コンクール事務局および報道関係者が必要とする無償での写真撮影

が行われる可能性がある。

VIII.

1. コンクール事務局は全てのコンクール参加者に対し、ビドゴシチでの滞在費を2010年11月6日(コンクール開始前日)から一次予選終了日まで負担する。
2. 二次予選に進出した者については2010年11月15日まで滞在費を負担する。
3. セミファイナルまで進んだ者についてはコンクール終了日まで滞在費を負担する。
4. ビドゴシチまでの往復旅費は参加者負担。
5. 主催者は参加者に対し練習用の楽器を無料で提供する。

IX.

1. 参加者は2010年11月6日までにコンクール事務局で出場登録しなければならない。
2. 参加者オリエンテーションと出演順抽選会が一次予選開始日の前日、つまり2010年11月7日に予定されている。
参加者の出席は必須である。
3. 抽選会で決まった出演順はコンクール終了時まで維持される。特別な事情の場合に限り、審査委員長が出演順変更の同意を表明する可能性がある。

X.

1. 当コンクールは一次予選、二次予選、セミファイナル、ファイナルによって構成される。
2. 二次予選に選ばれるのは原則として 20 名以内である。
3. セミファイナルには 10 名以内、本選には 5～6 名以内のピアニストが選出される。

XI.

1. プログラム(もともとピアノ独奏用に書かれたもの)は暗譜で、カットなしで演奏されなければならない。
同じ曲を 2 度以上弾いてはならない。
2. 参加者はコンクール期間中に演奏する曲の楽譜をコンクール事務局に提示しなければならない。
3. プログラムの変更は 2010 年 9 月 15 日までに文書で事務局に通知した場合に認められる。
4. 参加者は全てのソロステージで演奏時間制限を厳守しなければならない。
時間オーバーの場合審査員は演奏を中止させる権利を有する。

XII.

コンクール プログラム

1. 国際パデレフスキ ピアノ コンクールは参加者に対して自由な選曲を認める。このことによって主催者は参加者に対し、彼らの芸術性、イマジネーション、個性を発揮する可能性を与えることを意図している。
2. 自由選曲ではあるが一点だけ次のように制限を設ける。
選ばれたプログラムは、少なくとも三つの異なった音楽スタイルを代表する作品を含まなければならない。
3. 審査員は、選択されたプログラムとその演奏を次の観点から審査する。
 - ・リサイタルプログラムの構成力、
 - ・多彩な音楽スタイルにわたる作品への深い解釈と演奏能力、
 - ・そして音楽性と芸術的個性の表出。

XIII.

i. 一次予選 プログラム 自由選曲 25 ～30 分

ii. 二次予選 プログラム 40 ～ 45 分

1. 二次予選参加者はパデレフスキの曲を10分以内で2曲以上演奏しなければならない。
次のAグループ、Bグループからそれぞれ1曲以上選ぶこと。

A グループ/ from the series Polish Dances op. 9:

No 3 Mazurka in A major

No 4 Mazurka in B major

from the series Album de Mai op.10:

No 1 Au Soir

No 2 Chant d'amour

from the series Miscellanea op.16:

No 1 Legend

No 2 Melody

No 3 Thème varié A-dur

No 4 Nocturne

No 6 Un moment Musical

B グループ/ from the series Polish Dances op. 9:

No 6 Polonaise in H major

from the series Album de Mai op. 10:

No 3 Scherzino

No 5 Caprice Valse

from the series Humoresques de Concert op. 14:

No 1 Menuet

No 3 Caprice /genre Scarlatti/

No 4 Burlesque

No 5 Intermezzo polacco

No 6 Cracovienne fantastique

2. 二次予選の残りのプログラムは演奏者の自由選曲

iii. セミファイナル プログラム

1. ソロ・リサイタル 自由選曲 45—50 分
2. セミファイナル出場者は次の五重奏曲の中から 1 曲演奏する
 - Robert Schumann Piano Quintet in E flat major, op.44
 - Camille Saint-Saens Piano Quintet in A minor, op.14
 - Johannes Brahms Piano Quintet in F minor, op.34
 - Antoni Dvorak Piano Quintet in A major, op.81
 - Julius Zarebski Piano Quintet in G minor, op.34

iv. ファイナル プログラム

本選出場者は I.J. パデレフスキ ポメラニア・フィルハーモニー管弦楽団との協演で次のピアノ協奏曲の中から 1 曲を演奏する。

- I.J. Paderewski
 - Concerto in A minor op. 17
 - Polish Fantasy op. 19
- W.A. Mozart
 - Concerto No. 20 in D minor, KV 466
 - Concerto No. 21 in C major, KV 467
 - Concerto No. 27 in B major, KV 595
- L.van Beethoven
 - Concerto No. 3 in C minor op. 27
 - Concerto No. 4 in C major op. 58
 - Concerto No. 5 in E flat major op. 73
- F. Chopin
 - Concerto No. 1 in E minor op. 11
 - Concerto No. 2 in F minor op. 21
- R. Schumann
 - Concerto in A minor op. 54
- F. Liszt
 - Concerto No.1 in E flat major
 - Concerto No.2 in A major
- J. Brahms
 - Concerto No. 1 in D minor op. 15
- P. Tchaikovsky
 - Concerto No. 1 in B-flat minor op. 23
- S. Rachmaninov
 - Concerto No. 2 in C minor op.18
 - Concerto No. 3 in D minor op. 30
 - Rhapsody on a Theme of Paganini op. 43
- S. Prokofiev
 - Concerto No. 3 in C major op. 26

XIV.

1. 次の公式賞が与えられる。

1位	30,000 ユーロ
2位	15,000 ユーロ
3位	7,000 ユーロ
奨励賞	2,500 ユーロ
奨励賞	2,500 ユーロ

ファイナリストには国際パデレフスキピアノコンクール in ビドゴシチ入賞者のタイトルも授与される。

2. 次の特別賞が与えられる。

- a. 2,000 ユーロ パデレフスキのソナタ 変ホ短調 op.21、変奏曲とフーガ 変ホ短調 op.23、
協奏曲イ短調 op.17、もしくはポーランド幻想曲 op.19 の最優秀演奏者賞
- b. 1,000 ユーロ ピアノ五重奏の最優秀演奏者賞
- c. 1,000 ユーロ セミファイナル・リサイタルの最優秀演奏者賞
- d. 1,000 ユーロ セミファイナルかファイナル出場のポーランド人最優秀演奏者賞

3. 協賛者賞(規約外)

コンクール事務局は 2010 年 9 月 15 日までに個人および機関によって創設される全ての賞金と賞品を発表する。これらの賞は規約外であり、受賞者コンサートにて授与される。賞金は供託された通貨で支払われる。

XV.

セミファイナル出場者には参加ディプロムが授与される。

XVI.

- 1. 審査員は著名なポーランド人および外国人の音楽家によって構成される。
- 2. 審査委員長と審査員メンバーは運営委員会によって指名される。
- 3. 審査員は別途制定される審査ルールに基づいて審査する。

XVII.

1. 審査員は賞金総額が変更されなければ賞の構成や数を変更できる。個々の特別賞については当規則で規定する額を減額することはない。
2. 審査員は特別賞を与えない、もしくは他の賞に充当する権利を持つ。
3. 審査員の決定は取り消し不可能であり、控訴の対象にはならない。

XVIII.

1. 審査結果は2010年11月20日のファイナル終了後にパデレフスキ・フィルハーモニーホールで行われる閉会式にて発表され、公式賞と特別賞が授与される。

XIX.

1. 協賛者賞(規約外)は2010年11月21日にパデレフスキ・フィルハーモニーホールで行われる受賞者演奏会にて授与される。
2. 全ての受賞者は謝礼無しでこの受賞者演奏会に出演し、審査員によって提案されたプログラムを演奏する義務がある。
3. 1位、2位、3位受賞者は2010年11月24日にワルシャワ国立フィルハーモニーホールで行われる受賞者演奏会に出演しなければならない。

XX.

このルールと規則について論争が生じた場合はポーランド語版のみが典拠となる。

重要な期日

2010/3/31	参加申込書提出期限
2010/4/30	コンクール参加承認、もしくは予備審査会参加指示の連絡
2010/5月～7月	予備審査会
2010/5/31	特別な理由を認められた場合のVHS、DVD提出期限
2010/7/31	コンクール参加承認者リストの発表
2010/8/31	承認者の参加料払い込み期限
2010/9/15	この日以降、プログラムの変更が認められない

コンクールスケジュール

2010/11/6	コンクール参加者のビドゴシチ到着
2010/11/7	オリエンテーションおよび出場順抽選 開会式・オープニングコンサート
2010/11/8	一次予選開始
2010/11/11	一次予選結果発表
2010/11/12	二次予選開始
2010/11/14	二次予選結果発表
2010/11/15	休日
2010/11/16	セミファイナル開始
2010/11/17	セミファイナル結果発表
2010/11/18	休日 / ファイナリストのオーケストラリハーサル
2010/11/19-20	ファイナル
2010/11/20	閉会式
2010/11/20	受賞者発表 / 授賞式
2010/11/21	入賞者コンサート / 協賛者賞授賞式
2010/11/24	1位、2位、3位受賞者ワルシャワでのコンサート

以上

<http://konkurspaderewskiego.pl/en,46,Regulations%20&%20Notes.html>

上記のURLで英文の規則がダウンロードできますので日本語訳が不明の場合はご参照下さい。

英語版からの翻訳(部分的に意訳) by Shuhei Kawano